

事業継続推進機構 BIA 研究会議事録

日時：平成 24 年 7 月 27 日（金）15：30～17：40

場所：BCAO 事務所（中央区日本橋 4-3-4 東海日本橋ビル 7 階）

参加者：田中様（グリコ栄養食品）、齊藤様（オフィス彩）、高橋様（高橋海事 ISO 労働事務所）、織田様（ツバキサポートセンター）、伊藤（日本経済研究所）

【内容】

1. 田中様より、資料「経営者のための事業継続計画（BCP）ガイド」、ISO22301 紹介資料等に基づきご説明
2. 今年度の取り扱いテーマにつき意見交換

【主な発言】

- そもそも BIA はなぜ必要なのか、原点に立ち返る必要がある。端的に言えば影響度評価であり、事業への悪い影響を最小限に抑えるためのステップであろう。事業継続を考えるためのものであるから、当然ビジネスインパクトを考えるのであり、リスクしか考えないのであれば、それは単なる防災に過ぎない。
- 今年度はなぜ BIA をやるのかというところから議論したい。災害があつて、企業がおかしくならないように戦略につないでいくために BIA があると考え。戦略が正しいか見極めるために BIA があるのであろう。戦略は装置産業では想定される数が限定的で、食品産業のように小回りの効く業では多岐にわたってくる。
- 新規発行された ISO が要求している BIA の範囲を把握して、それに則って BIA の検討を実際にやってみてはどうか。